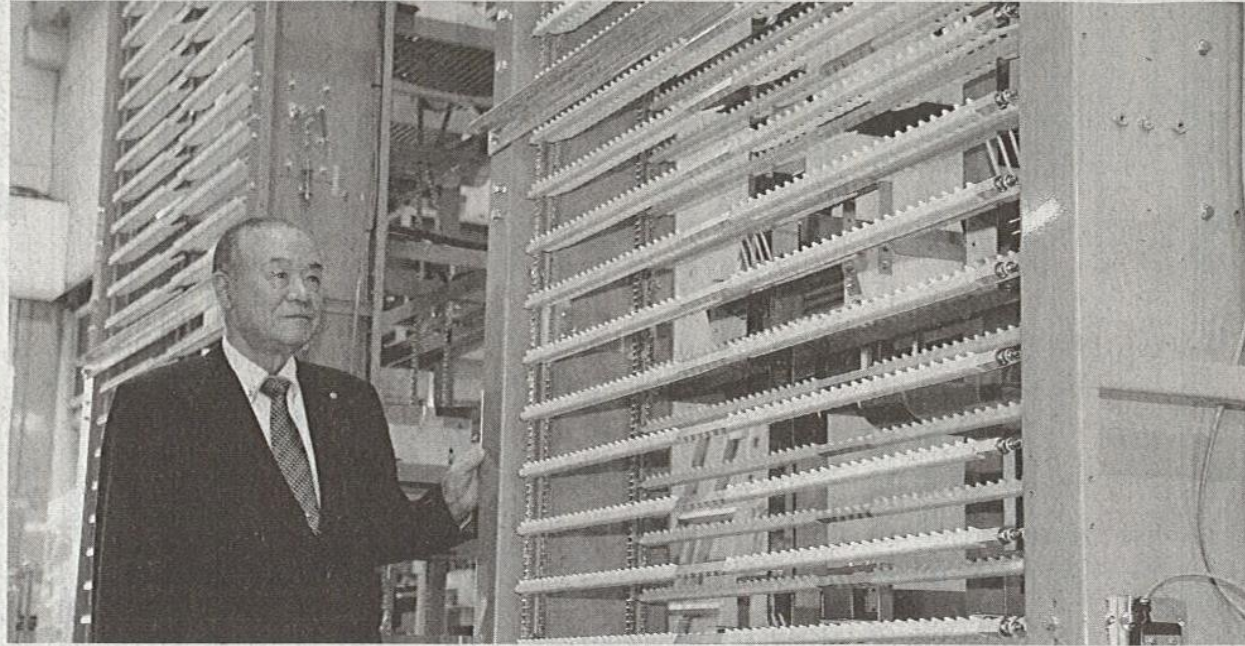


(第3種郵便物認可)

工場内を巡って装置の出来栄を確認する吉田会長(御坊市で)



「ヨシダエルシス」最高賞

グッドカンパニー大賞 自動養鶏システム確立

は、島精機製作所、ノーリツ鋼機に続いて3社目。
ヨシダエルシスは、吉田擴(ひろ)会長(75)の父親で、養鶏業を営んでいた八五郎氏(故人)が1958年に日本初の「手押し給餌機」を開発し、創業。エサやりから除ふん、集卵まで全自動の養鶏システムを確立し、養鶏業者の生産性向上などに貢献してきたことが高く評価された。

設計から施工まで請け負う総合プラントとしての強みを生かし、システムと鶏舎を一括受注。5月期決算の売り上げは約117億円で、卓司社長(46)が就任した2015年から大幅に伸ばしている点も評価を受けた。

吉田会長は「『物価の優等生』の卵の安定供給に少しでも貢献できた」と喜び、卓司社長は「歴史ある賞に地道な取り組みを評価してもらい、感激している。今後は、世界にも目を向けた」と話している。

社会の発展に貢献し、経営的にも優れた成果を上げている企業を表彰する公益社団法人「中小企業研究センター」の今年度の「グッドカンパニー大賞」で、全

自動養鶏システムを手掛ける「ヨシダエルシス」(御坊市)が、最高賞にあたるグランプリに輝いた。52回を数える同賞で、県内から最高賞に選ばれたの